Visole

取扱説明書

地上デジタルハイビジョン
22型 液晶テレビ DVDプレーヤー内蔵

品番 LCU2162X (B)/(W)

このたびはVisole液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

もくじ

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

DVD の操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全にお使いください。
「取扱説明書」をお読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	**この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。**
⚠注意	**この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。**

絵表示について

絶対に行わない	絶対に触れない	絶対にぬれた手で触れない
絶対に分解や修理はしない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	必ず指示に従う	高圧注意 （テレビ背面に表示）

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1　内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2　温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3　内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4　ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

安全上のご注意

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
DVDの操作
その他

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。

高圧注意

分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢､小さな金属類 (安全ピンやヘヤピンなど) を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

水場での使用禁止

絶対に水にぬらさない

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
電源プラグを交流 100 ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

禁止

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

指示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ＋－の指示通りに入れる。
  使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
  電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。

指示　禁止

使用上のご注意とお願い

◆ 輝点・欠点について
液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

◆ お手入れについて
お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

◆ 輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

◆ 本機を破棄するとき
一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
本機の内部で使用している蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

◆ 本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

◆ 室内温度について
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

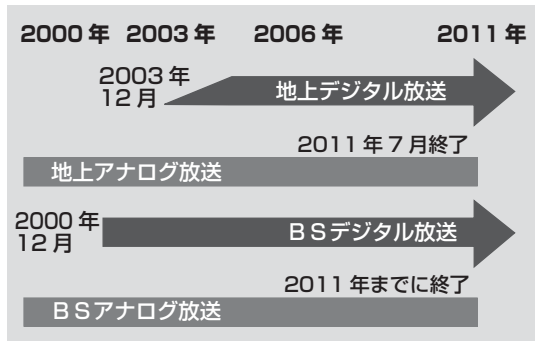
◆ バックライトについて
液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。本機のバックライト寿命は約50,000 時間です。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

◆ デジタル放送のコピー制御について
本機には付属の B-CAS カードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CAS カードの機能を利用します。
挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
B-CAS カードを挿入していただくことで、NHK も、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）
詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

主な特長

◆ 地上デジタルチューナー内蔵

地上デジタル放送は、UHF 帯の地上波を利用した放送です。アナログ放送では得られない高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、電子番組表を使って見たい番組を簡単に選ぶことができます。

アナログ放送からデジタル放送への移行について
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

◆ オンスクリーン表示

画面を見ながら映像調整、音声調整などを設定できます。

◆ DVD プレーヤー内蔵

内蔵の DVD プレーヤーで DVD ディスクの高品位な映像を楽しむことができます。

◆ 映像／音声調整

お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」、「黒レベル」、「バックライト」、「色合い」、「色の濃さ」、「シャープネス」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」、「高音」、「バランス」「低音強調」をお好みの音声に調整することができます。

◆ スリープタイマー

おやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的に電源を消すことができます。（30・60・90・120 分）
タイマー機能で操作できます。（38 ページ参照）

◆ HDMI 端子

HDMI 対応のブルーレイ DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。（接続コードは付属していません。）

◆ D4 端子

ビデオデッキなどの AV 機器と接続して高品位な映像を楽しむことができます。（接続コードは付属していません。）

◆ D-SUB 端子

15 ピン D-SUB 端子を使ってパソコンと接続することで、本機をパソコンのモニターとして使用できます。（接続コードは付属していません。）

◆ 画面サイズの切換

映像に合わせて画面のアスペクト比率を 16：9 と 4：3 に切り換えることができます。

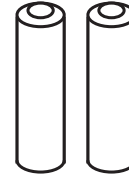
付属品を確認する

ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれています。すべて入っているかご確認ください。

本体

LCU2162X

リモコン × 1

単４形乾電池 × 2

取扱説明書　× 1

保証書　× 1

液晶テレビ　保証書　持込修理

品番　LCU2162X　製造番号

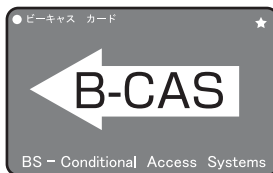
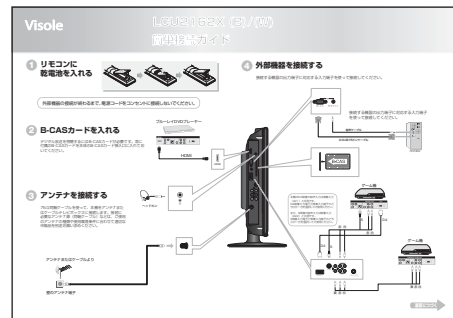
お客様　お名前　ご住所 〒　電話番号

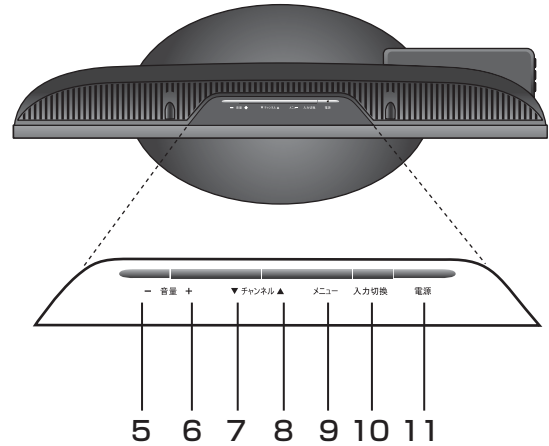
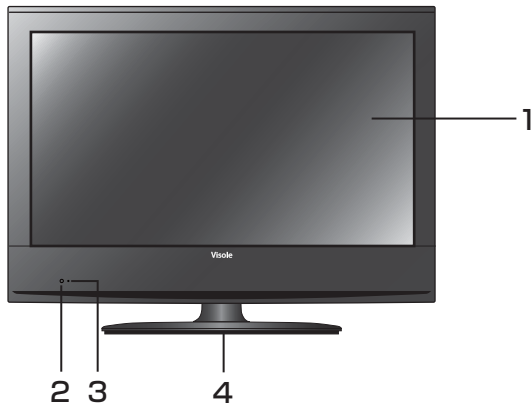
お買い上げ日　年　月　日　取扱販売店名・住所・電話番号

保証期間(お買い上げ日から)　本体　1年間

●お客様へのお願い　お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。

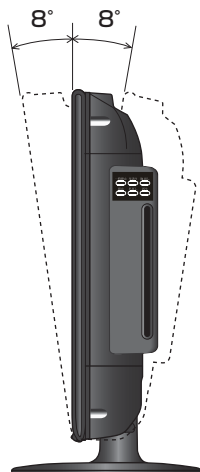
●ご販売店様へ　お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

B-CAS カード　× 1

簡単接続ガイド　× 1

各部の名称（本体）

本体前面と操作部

1　液晶画面
2　リモコン受光部
3　電源ランプ
4　スタンド

5　音量−ボタン
6　音量＋ボタン
7　チャンネル ▼ ボタン
8　チャンネル ▲ ボタン
9　メニューボタン
10 入力切換ボタン
11 電源ボタン

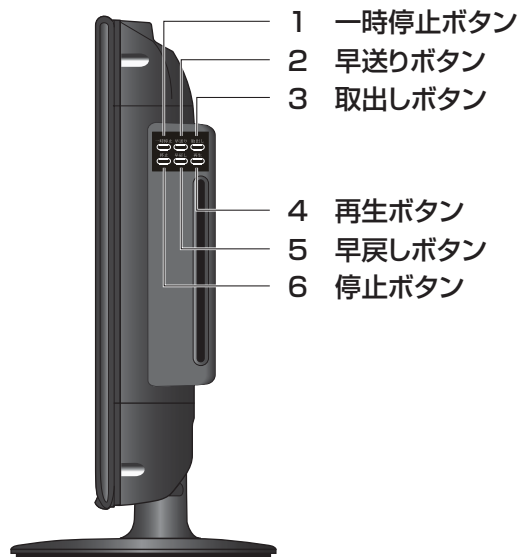
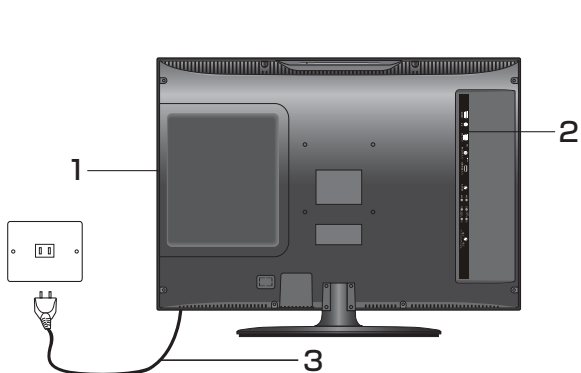
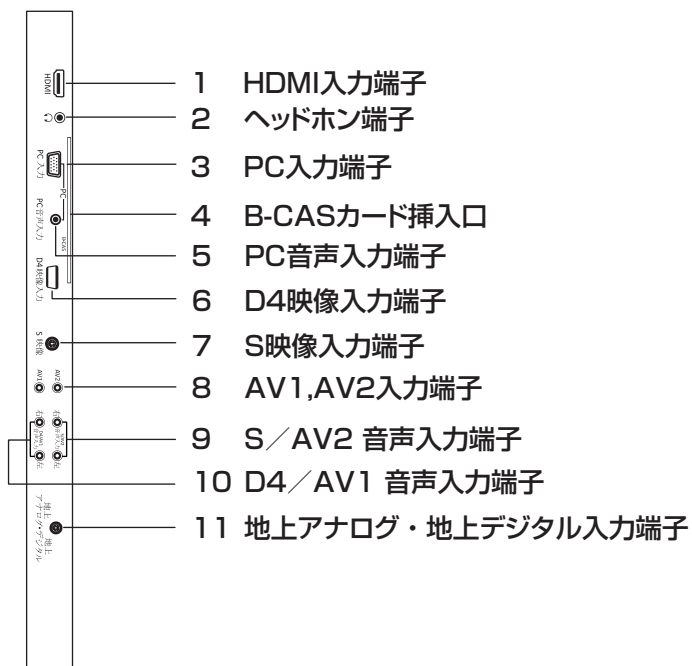
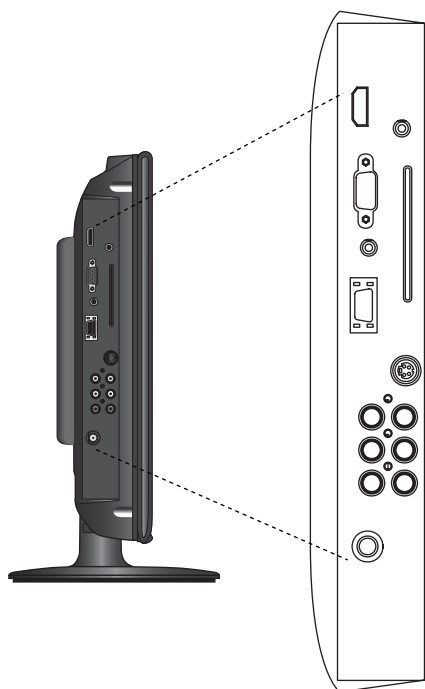
◆ 画面の角度を調整する

本機の液晶画面は、角度を垂直方向に前方に 8°、後方に 8° 調整することができます。本体上部とスタンドをしっかり押さえながら、ゆっくりとお好みの角度に調整してください。

ご注意

- 画面の角度を調整できる範囲を超えて使用しないでください。
  範囲を超えての使用は、画面・スタンド・ヒンジに支障をきたす場合があります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など、不安定な場所には置かないでください。
  落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。
- 持ち運ぶときは上部とスピーカーの下部の 2 か所をしっかりと持ってください。
  誤った方法で持ち運ぶと、テレビを落としてけがをする原因となることがあります。

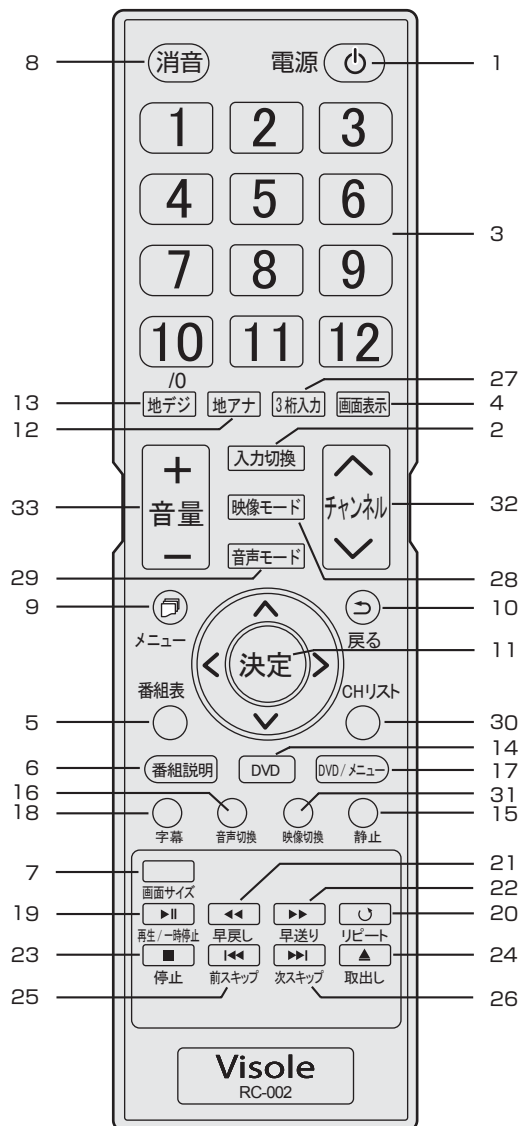
各部の名称（本体）

本体背面と DVD 部

1　ディスク挿入口
2　端子部
3　電源コード

本体左側面端子部

お知らせ

- S 映像および AV と D4 の音声入力は 1 系統ですので、いずれか 1 つを選択してご使用ください。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
DVDの操作
その他

各部の名称（リモコン）

1　**電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。

2　**入力切換ボタン**
入力ソースを切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わり自動的にその画面が表示されます。

3　**数字ボタン**
視聴するチャンネルを選択します。

4　**画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネルの番組情報が表示されます。

5　**番組表ボタン**
番組表をテレビ画面に表示します。（地上デジタル放送のみ）

6　**番組説明ボタン**
番組についての情報や説明を表示します。（地上デジタル放送のみ）

7　**画面サイズボタン**
お好みの画面サイズを選択します。

8　**消音ボタン**
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

9　**メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

10 **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているとき、1 つ前の画面に戻ります。

11 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。

▲▼◀▶ボタン
メニュー画面を表示しているときはカーソルを移動します。

12 **地アナボタン**
地上アナログ放送に切り換えます。

13 **地デジボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。

14 **DVD ボタン**
DVD モードに切り換えます。

15 **静止ボタン**
映像画面のみを静止します。

16 **音声切換ボタン**
2 カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。

17 **DVD ／メニューボタン**
DVD モードのときに DVD のトップメニューを表示します。

18 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます。

19 **再生／一時停止ボタン**
DVD や音楽 CD などを再生／一時停止します。

各部の名称（リモコン）

20 リピートボタン
選択したタイトル・チャプター・トラック・すべてを繰り返し再生します。

21 早戻しボタン
再生中に押すと、早戻し再生をします。押すたびに、2 倍速 → 4 倍速 → 8 倍速 → 20 倍速 → ノーマルの順に切り換わります。
早戻し中は、音声が出ません。

22 早送りボタン
再生中に押すと、早送り再生をします。押すたびに、2 倍速 → 4 倍速 → 8 倍速 → 20 倍速 → ノーマルの順に切り換わります。
早送り中は、音声が出ません。

23 停止ボタン
再生を一旦停止します。再生ボタンを押すと再生を停止した位置から再開します。
停止ボタンを 2 回押すと再生が停止し、次に再生ボタンを押すとディスクの最初から再生します。

24 取出しボタン
ディスクを取り出します。

25 前スキップボタン
前のチャプター／トラックに戻ります。

26 次スキップボタン
次のチャプター／トラックに進みます。

27 3 桁入力ボタン
地上デジタル放送にて3桁入力で選局します。

28 映像モードボタン
お好みの映像モードを選ぶことができます。

29 音声モードボタン
お好みの音声モードを選ぶことができます。

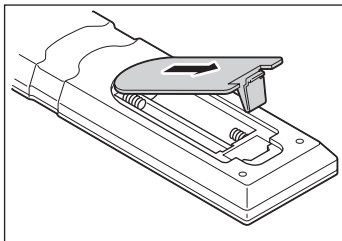
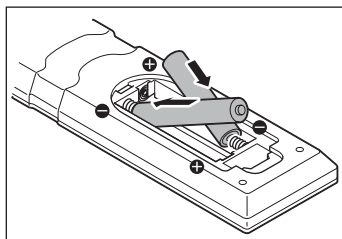
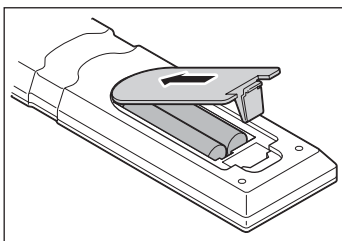
30 CH リストボタン
チャンネルリスト画面を表示します。

31 映像切換ボタン
複数の映像がある番組で映像を切り換えます。

32 チャンネル ∧ ∨ ボタン
チャンネルを順に切り換えます。

33 音量＋／－ボタン
音量を大きくしたり、小さくしたりします。

リモコンの準備と使い方

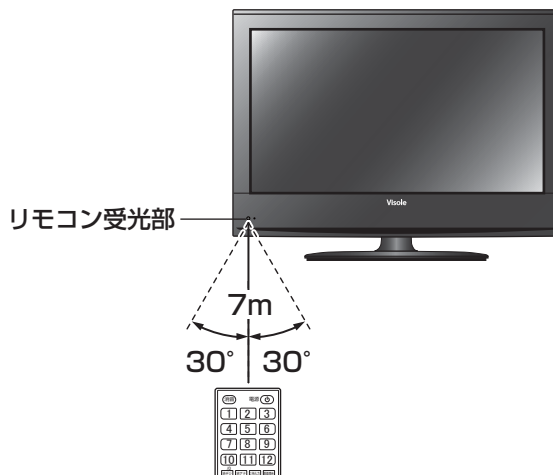
1 リモコン裏側の電池ケースカバーを上方向へ引き、カバーをはずす

2 乾電池の＋、－極の方向に注意して電池ボックスに乾電池を入れる

3 電池ケースカバーを元に戻す

ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずし、正しく保管してください。

◆ リモコンで操作できる範囲

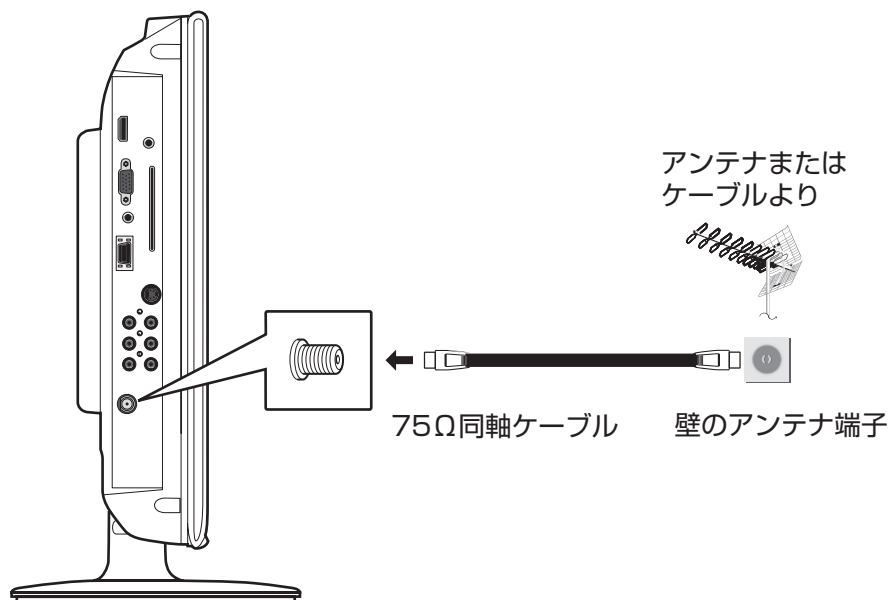
本体前面のリモコン受光部の正面から約 7 メートル、左右 30°の範囲でお使いください。

お願い

- 本体とリモコン受光部の間に物を置かないでください。

アンテナを接続する

ご注意

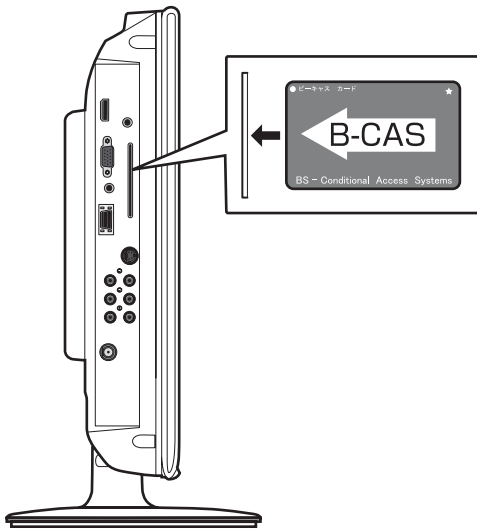
- アンテナを接続するときは、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。

地上デジタル放送は UHF 帯が利用されています。UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信ができません。
現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。
アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属しておりません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

お知らせ

- 本機はデジタルチューナーとアナログチューナーの併用型となっております。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

B-CAS カードを入れる／電源を入れる

B-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、B-CAS カードが必要です。常に付属の B-CAS カードを本体の B-CAS 挿入口に入れておいてください。

ご注意

- B-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

◆ B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL　0570-000-250

電源を入れる

1 **電源プラグをコンセントに差し込む**

電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。
画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。
はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。次ページの「はじめての設定」に進んでください。

お知らせ

電源を入れてから画面が表示されるまでに約 10 秒程度時間がかかります。

チャンネル設定をする

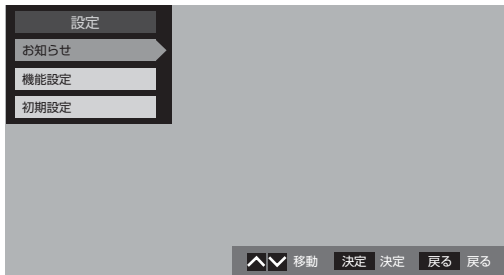
はじめての設定

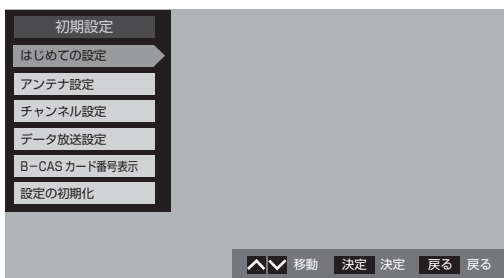
お買い上げ後、B-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」を行います。お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

1 (メニュー) **を押す**

メニュー画面が表示されます。

2 **▲▼で「設定」を選んで、(決定) を押す**

設定メニューが表示されます。

3 **▲▼で「初期設定」を選んで、(決定) を押す**

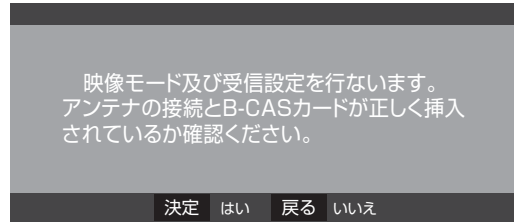
「初期設定」画面が表示されます。

4 **▲▼で「はじめての設定」を選んで、(決定) を押す**

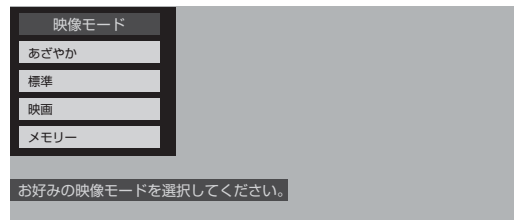
「はじめての設定」画面が表示されます。

5 **▲▼で「する」を選んで、(決定) を押す**

アンテナと B-CAS の確認画面が表示されます。

映像モード及び受信設定を行ないます。
アンテナの接続とB-CASカードが正しく挿入されているか確認ください。

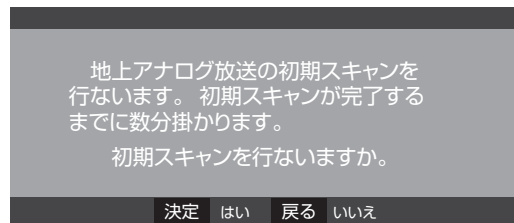
決定 はい　戻る いいえ

6 **アンテナ接続と B-CAS カードを確認して (決定) を押す**

映像モードメニューが表示されます。

7 **▲▼でお好みの映像モードを選んで、(決定) を押す**

地上アナログの初期スキャン画面が表示されます。

地上アナログ放送の初期スキャンを行ないます。 初期スキャンが完了するまでに数分掛かります。

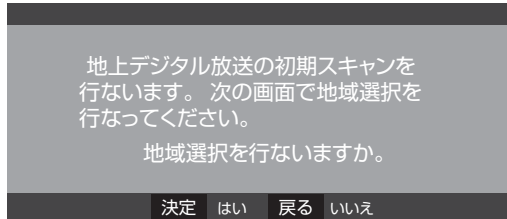
初期スキャンを行ないますか。

決定 はい　戻る いいえ

8 **(決定) を押す**

地上アナログ放送の初期スキャンが始まります。

チャンネル設定をする

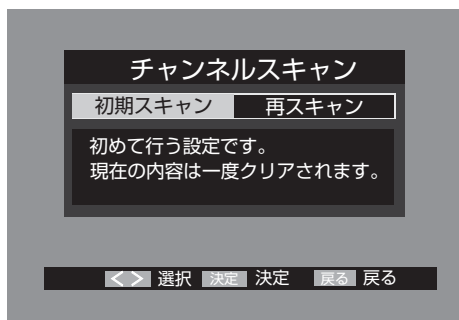
地上アナログ放送の初期スキャンが終わると、続けて地上デジタル放送の初期スキャンを行うかどうかの画面が表示されます。

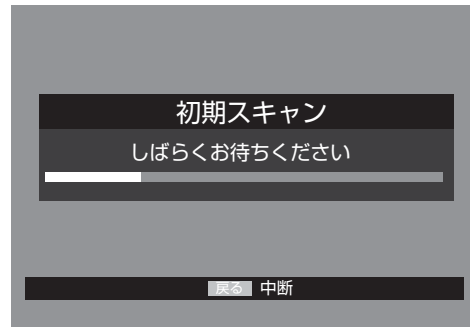
地上デジタル放送の初期スキャンを
行ないます。 次の画面で地域選択を
行なってください。
地域選択を行ないますか。
決定 はい 戻る いいえ

9 決定 **を押す**

地上デジタル放送の初期スキャンを行わない場合は、戻る を押してください。メニューが消えて地上アナログ放送の画面になります。

10 ◀▶ **でお住まいの地域を選んで、** 決定 **を押す**

11 ▲▼◀▶ **でお住まいの都道府県（北海道は地域名）を選んで、** 決定 **を押す**

「チャンネルスキャン」画面が表示されます。

12 **「初期スキャン」が選択されているのを確認して、** 決定 **を押す**

チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定結果が表示されます。

13 ▼ **を押して、チャンネルの設定結果を確認する**

14 メニュー **を押してメニュー画面を消す**

これでチャンネル設定は終了です。

お知らせ

- 自動設定された内容を変更したい場合は、「地上アナログ手動設定」、「地上デジタル手動設定」で設定しなおすことができます。（36、37 ページ参照）
- 2011 年 7 月のアナログ放送停波後に地域によっては地上デジタルのチャンネルの設定番号が変更になる場合があります。その地域にお住まいの方はチャンネル再スキャンをしてください。（36 ページ参照）

テレビを見る

1 リモコンまたは本体上面の電源ボタンを押す

前面の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

2 [地デジ] または [地アナ] で地上デジタル放送か地上アナログ放送を選ぶ

3 数字ボタン（①～⑫）またはチャンネル ∧ ∨ ボタンでチャンネルを選ぶ

チャンネル ∧ ∨ ボタンでは、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

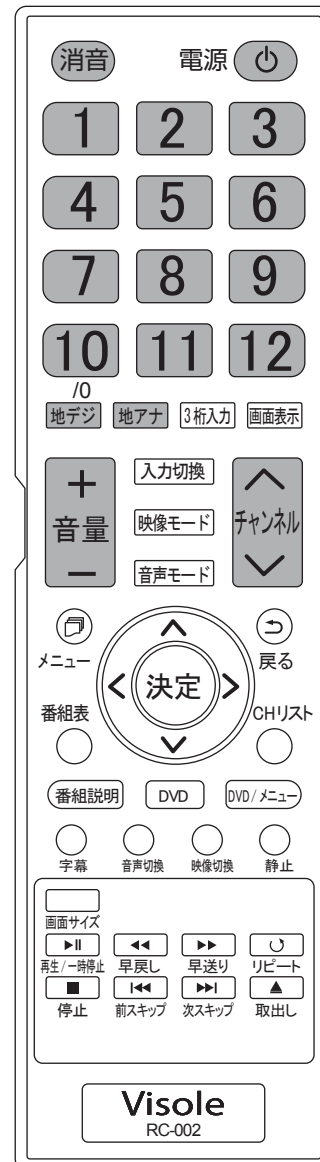
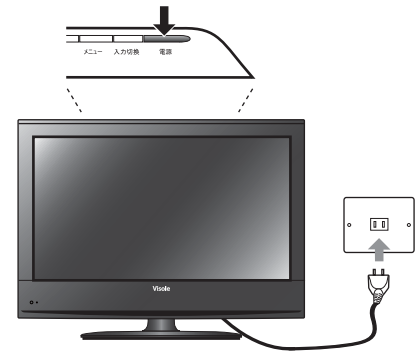
4 音量＋／－で音量を調節する

◆ 音だけを消したいとき

1 (消音) を押す

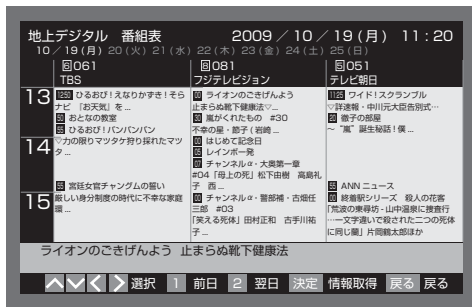
画面左下に「消音」と表示されます。

2 元に戻すには、もう一度 (消音) を押す

音量＋／－を押しても音が出ます。

番組表を見る（地上デジタル放送のみ）

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大 6 日先までの放送予定を確認できます。

1 **デジタル放送視聴中に 番組表 を押す**

視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。

お知らせ

番組表 を押すと 2 秒ほどで表示されます。

2 **番組表を消すには、戻る または 番組表 を押す**

お知らせ

- 番組情報が取得できていないときは内容が表示されません。その場合には、決定 を押して番組情報を取得してください。（表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。）

◆ 番組表の見かた

選択している番組枠の日にち

現在日時表示

3 チャンネル分の番組表が表示されます。◀ ▶ でほかのチャンネルに移動します。

3 時間分の番組表が表示されます。▲ ▼ で時間帯が移動します。

選択している番組枠の情報が表示されます。

はじめに / 準備 / 基本の操作 / 外部機器との接続 / 調整と設定 / DVDの操作 / その他

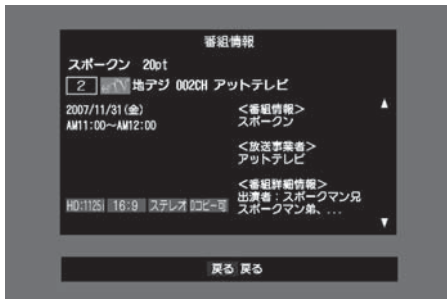
デジタル放送の便利な機能を使う

チャンネルリストでチャンネルを選ぶ

1 **デジタル放送視聴中に CHリスト を押す**
地上デジタルチャンネルリストが表示されます。

2 **▲▼ でチャンネルを選び、決定 を押す**
選択したチャンネルの画面が表示されます。

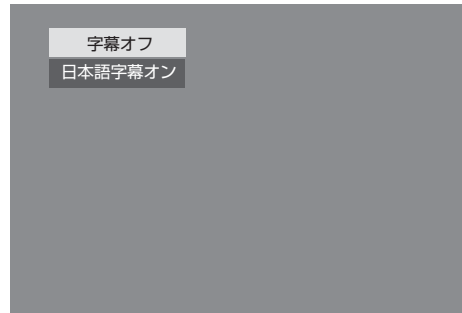
番組情報を見る

1 **デジタル放送視聴中に 番組説明 を押す**
番組名、チャンネル番号、放送局名、放送時間、番組情報などが表示されます。

番組情報に続きがあるときは、▼ を押すと表示されます。

2 **番組情報を消すには、戻る または 番組説明 を押す**

字幕を表示する

字幕のある番組のときに、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

1 **デジタル放送視聴中に 字幕 を押す**

字幕 を押すたびに字幕の表示・非表示が切り換わります。

お知らせ

- 字幕の表示・非表示は、メニューの「地上デジタル字幕設定」からも設定できます。（32 ページ参照）

文字スーパーを表示する

文字スーパーは、見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。
文字スーパーの表示は、メニューの「地上デジタル字幕設定」から設定することができます。37 ページをご覧ください。

チャンネル情報を見る／音声を切り換える

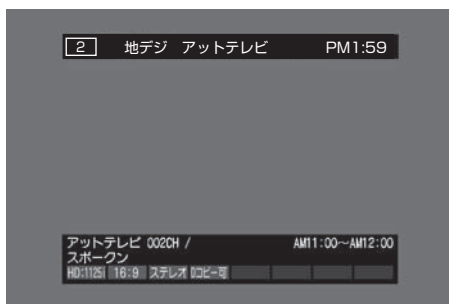
チャンネル情報を見る

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

1 画面表示 を押す

2 表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す

◆ 地上デジタル放送の場合

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。

しばらくすると、画面下部の表示は消えて上部の表示だけになります。

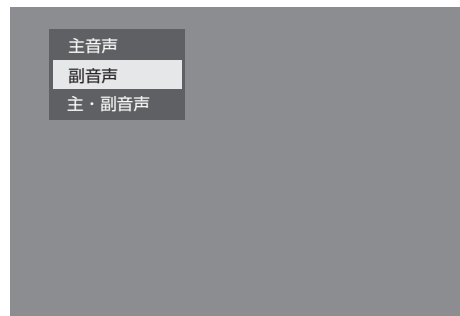
◆ アナログ放送の場合

チャンネル番号と音声モードが表示されます。

音声を切り換える

1 音声切換 を押す

押すたびに別の音声に切り換わります。

◆ 地上デジタル放送の場合

お知らせ

- 受信している放送によって音声表示は異なります。
- 切り換える音声がない場合には「切換える音声がありません」と表示されます。

◆ 地上アナログ放送の場合

音声多重放送を受信しているときは、次のように音声が切り換わります。

「主音声」→「副音声」→「主・副音声」

画面サイズを変える

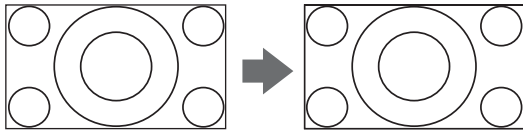
視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

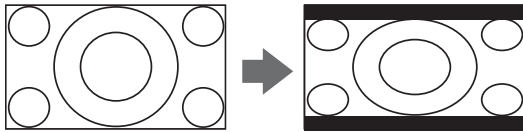
1 画面サイズ **を押す**

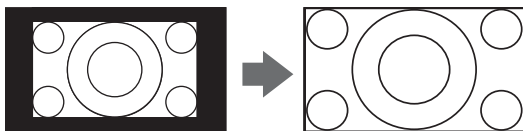
◆ 地上デジタル放送の 16：9 映像のとき

画面サイズ を押すたびに、ノーマル → 4：3 レターボックス → 4：3 パンスキャン の順番で切り換わります。

ノーマル

16：9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

4：3 レターボックス

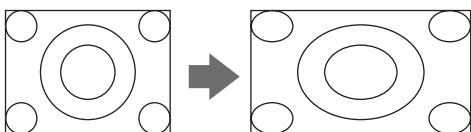
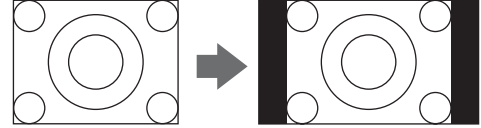
上下に黒い帯が表示されます。

4：3 パンスキャン

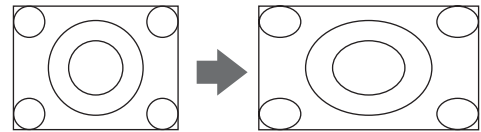
上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。

◆ 地上アナログ放送の 4：3 映像のとき

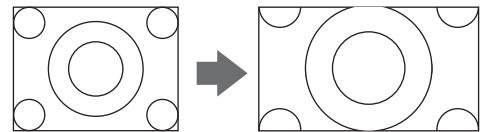
画面サイズ を押すたびに、フル → 4：3 → ワイド → 映画 → 映画字幕 → 14：9 の順番で切り換わります。

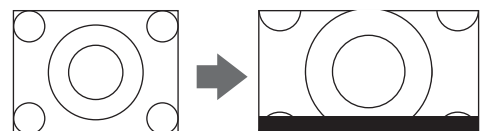
フル

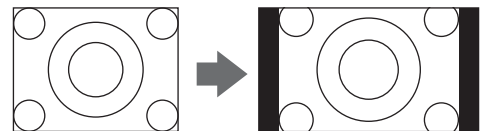
4：3 の映像をワイド画面いっぱいに拡大して表示します。（映像が横伸びします）

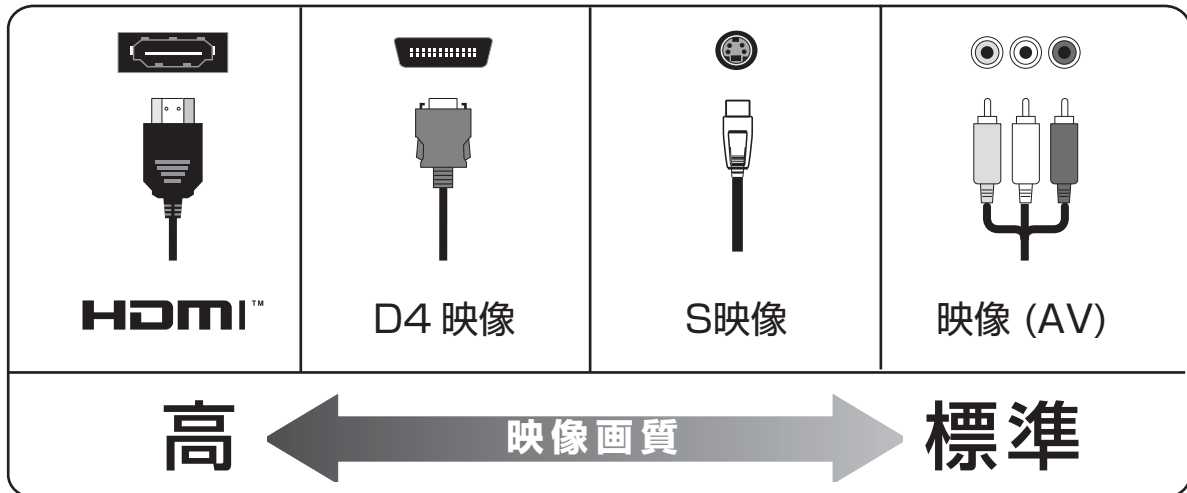
4：3

4：3 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。（画面の左右に黒い帯が表示されます）

ワイド

4：3 の映像をワイド画面いっぱいに拡大して表示します（上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします）

映画

4：3 の映像をアスペクト比を保ったまま拡大して表示します。（上下の映像が画面の外に隠れます）

映画字幕

映画画面の下部に黒い帯が入ります。

14：9

4：3 の映像をアスペクト比を保ったまま拡大して表示します（上下の映像が画面の外に隠れ、画面の左右に黒い帯が表示されます）

再生機器を接続する

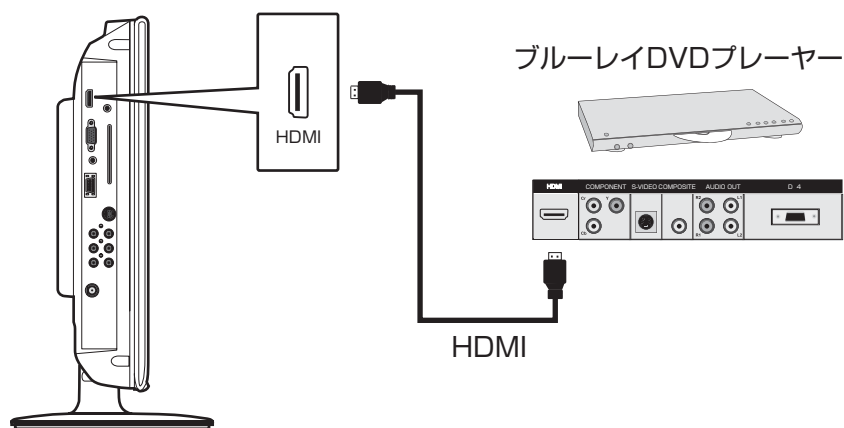
DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

◆ 外部機器を接続する際のご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

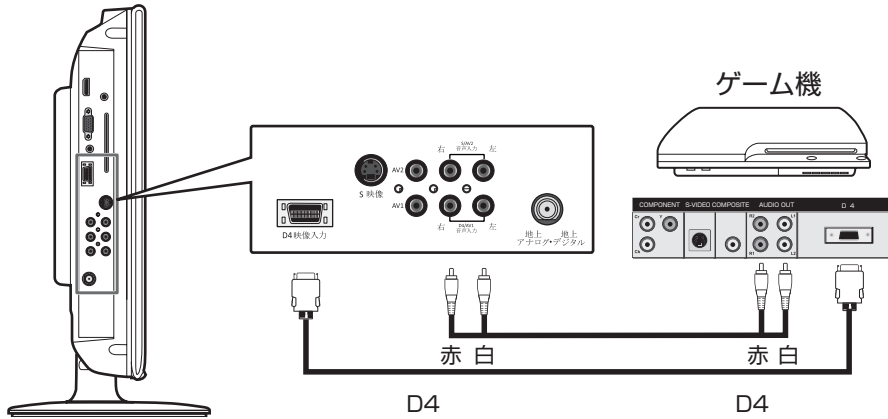
HDMI 端子を使う場合

HDMI 端子のあるブルーレイ DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。
HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

お知らせ

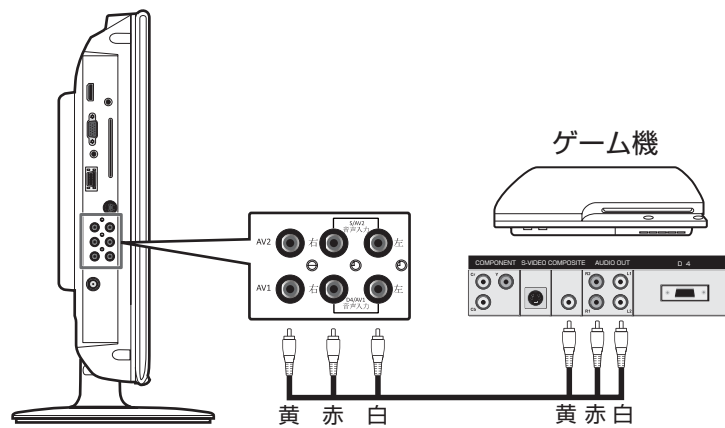
- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

再生機器を接続する

D4 映像入力端子を使う場合

D4 映像入力端子で接続すると、通常の映像入力端子による接続よりも高品質の映像をお楽しみいただけます。お持ちのゲーム機などに D 端子がある場合は、この方法で接続してください。

お知らせ

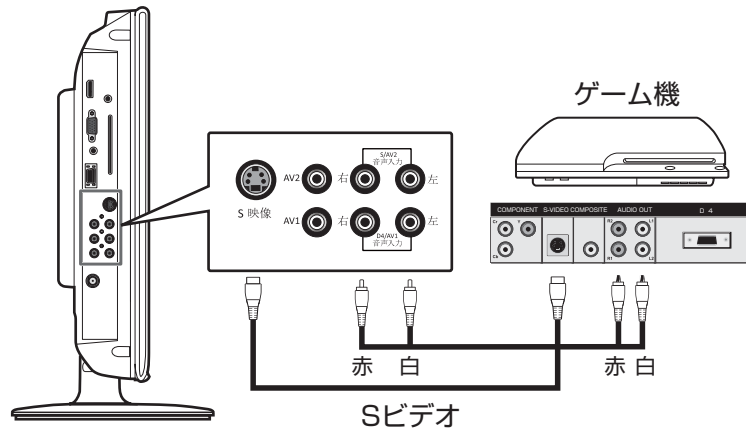
- 本機の D4 映像の音声入力は映像入力（RCA）と共用ですので、D4 映像入力端子と映像入力端子を同時に使うことはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

映像端子を使う場合

お知らせ

- 本機の D4 映像の音声入力は映像入力（AV1）と共用ですので、D4 映像入力端子と映像入力端子を同時に使うことはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

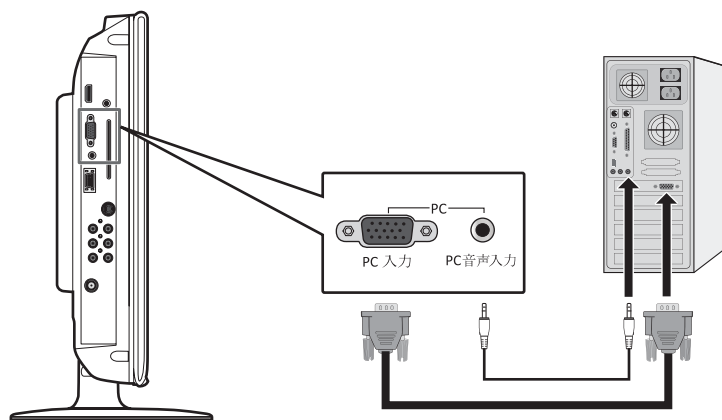
再生機器を接続する

S 映像入力端子を使う場合

S 映像入力端子で接続すると、通常の AV 入力端子による接続よりも高品質の映像をお楽しみいただけます。お持ちのゲーム機などに S ビデオ端子がある場合は、この方法で接続してください。

お知らせ

- 正しい向きで接続しないと、Sビデオケーブルのピンを破損する可能性がありますのでご注意ください。
- 本機の S 映像の音声入力は映像入力（AV2）と共用ですので、S 映像入力端子と映像入力端子を同時に使うことはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。
- S 映像入力端子と映像入力（AV2）端子の両方に接続した場合は、S 映像入力端子が優先されます。

パソコンを接続する

本機にパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。

ご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- 1366 × 768 @ 60Hz ではドットバイドットの表示ができます。その他のモードではスケーリング表示となり 4：3 または 16：9 の表示を画面サイズ ボタンにより選択できます。
  (入力する信号によっては正しくドットバイドット表示されない場合があります。この場合、画面位置調整のオートを実行することにより修正できる場合があります。)
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定（解像度、周波数）は取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。
- パソコン接続時の表示設定は、自動調整で最良に近い状態に設定されます。自動調整だけで最適な画像にならない場合は、映像設定の PC 設定メニューで調整してください。(39 ページ参照)

接続した機器の映像を見る（入力切換）

左側面の外部入力端子に接続したDVDプレイヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切換を行います。

1 入力切換 **を押す**

2 入力切換 **を繰り返し押して、入力モードを選ぶ**

地上アナログ

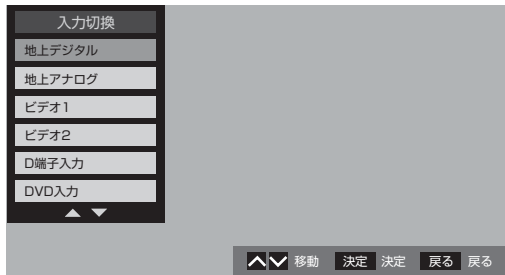
ビデオ1

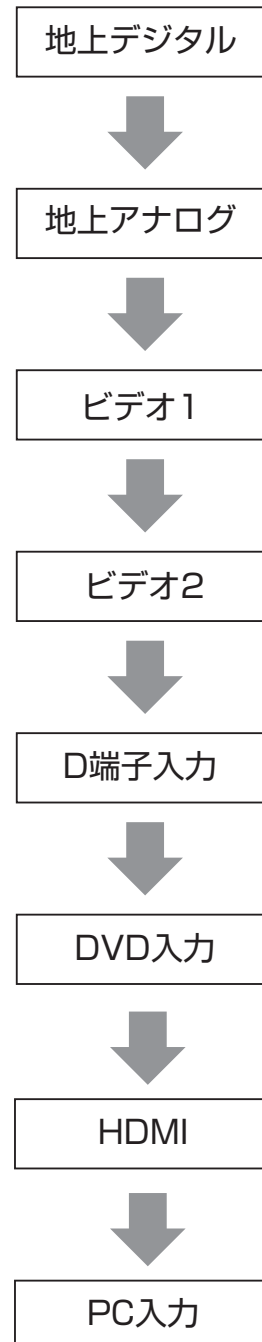
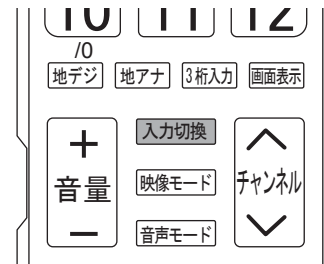
ビデオ2

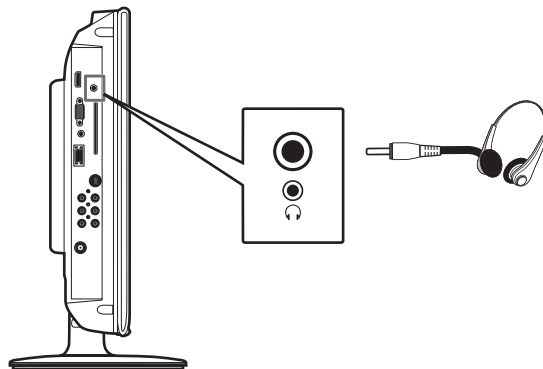
D端子入力

DVD入力

HDMI

PC入力

お知らせ

- S映像入力端子と映像入力（AV）端子の両方に接続している場合は、S映像入力が優先して表示されます。Sビデオケーブルをはずすと映像入力（AV）が表示されます。
- 本体上面の入力切換ボタンでも入力切換ができます。
- 音量の調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

ヘッドホンを接続する

市販のヘッドホンを左側面のヘッドホン端子に接続すると、ヘッドホンで聞くことができます。ヘッドホンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。

ご注意

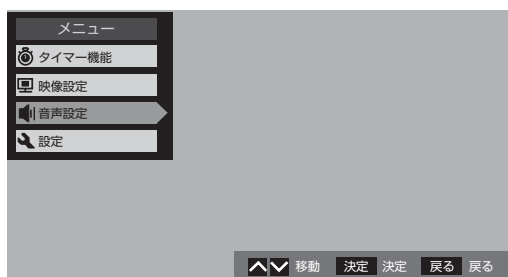
- ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大音量で長時間聞き続けると聴力に悪い影響を与えることがあります。適切な音量でご使用ください。

メニュー画面の操作方法

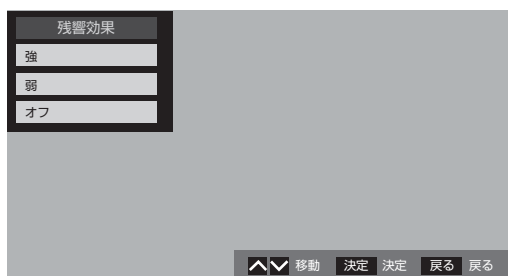
本機の各種設定を変更することができます。設定できる項目の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

例：残響効果の設定をする場合

1 **メニュー ボタンを押す**

メニュー画面が表示されます。

2 **▲▼ で「音声設定」を選んで、決定 を押す**

音声設定メニューが表示されます。

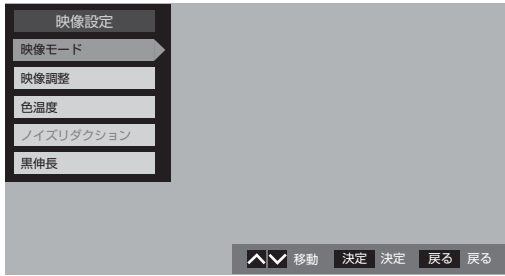
3 **▲▼ で「残響効果」を選んで、決定 を押す**

4 **▲▼ でお好みの設定を選んで、決定 を押す**

5 **メニュー を押す**

メニュー画面が消え、通常の画面に戻ります。

お知らせ

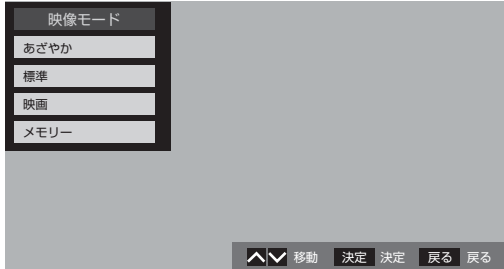
- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

映像設定メニュー

現在選択されている入力モード（地上デジタル、地上アナログ、ビデオ（S)、D 端子入力、HDMI、DVD 入力）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 入力モードが「PC 入力」の場合は、選択できない項目があります。

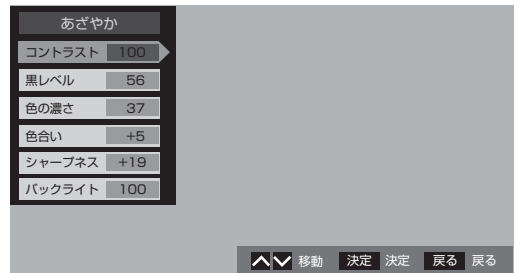
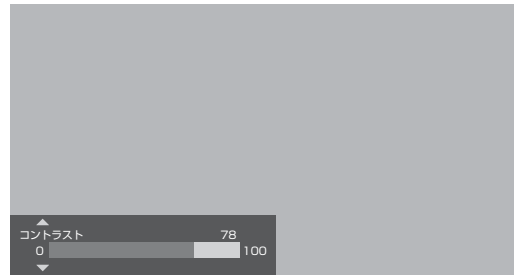
◆ 映像モード

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **あざやか**
  コントラストが高く、くっきりとした映像が楽しめます。
- **標準**
  くせのない、標準的な色合いになります。
- **映画**
  落ち着いた色合いで、映画などのフィルム映像に適しています。
- **メモリー**
  映像メニューの「あざやか」「標準」「映画」をお好みに合わせて「コントラスト」「明るさ」「バックライト」「色の濃さ」「色合い」「シャープネス」を調整した場合に、「メモリー」に記憶されます。

◆ 映像調整

映像調整を選択することにより、お好みに合わせて画質調整をすることができます。

◆ 調整項目

コントラスト、 黒レベル、色の濃さ、色合い、シャープネス、バックライト　の各設定を選択します。

お好みにあわせ調整をしてください。
調整した内容は　”メモリー”として保存され、映像モードで選択をすることができます。

- **コントラスト**
  設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
- **黒レベル**
  設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
- **色の濃さ**
  設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
- **色合い**
  設定値が低いと赤っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。

- **シャープネス**
  設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
- **バックライト**
  バックライトの明るさをお好みによって調整できます。

◆ 色温度

3 種類の色温度（色合い）設定が用意されています。お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

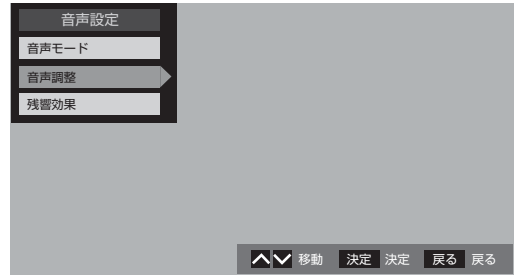
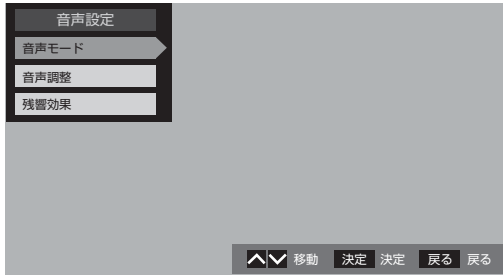
- **高い**
  青味を強調した色合いになります。
- **標準**
  標準的な色合いになります。
- **低い**
  赤味を強調した色合いになります。

◆ ノイズリダクション

地上アナログ放送の映像のノイズを減らすことができます。「オート」を選ぶと映像のノイズを検出して自動で軽減します。

◆ 黒伸張

お好みに合わせて黒の階調を「オン」「オフ」します。

音声設定メニュー

現在選択されている入力モード（地上デジタル、地上アナログ、ビデオ（S）、D 端子入力、HDMI、DVD 入力）の音声を、お好みの音質に調整できます。

◆ 音声モード

シーンに合わせた音声設定があらかじめ用意されています。お好みで設定を切り換えてお楽しみいただけます。

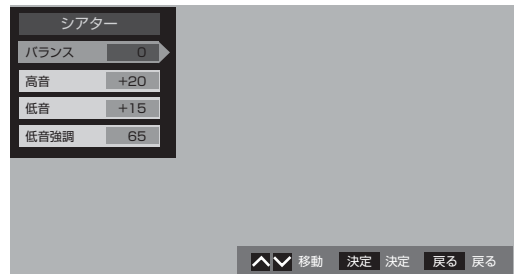
- **シアター**
  映画館のような迫力ある重低音が楽しめます。
- **ホール**
  大ホールにいるような広がりのある音質になります。
- **ニュース**
  音声を聞き取りやすくなります。
- **メモリー**
  音声モードの「シアター」「ホール」「ニュース」をお好みに合わせて「バランス」「高音」「低音」「低音強調」を調整した場合に「メモリー」に記憶されます。

◆ 音声調整

音声調整を選択することにより、お好みに合わせて音質調整をすることができます。

- **バランス**
  左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
- **高音**
  設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
- **低音**
  設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
- **低音強調**
  低音の効果を強くすることができます。
  設定値が大きいほど豊かな低音を再生します。

◆ 調整項目

バランス、 高音、低音、低音強調　の各設定を選択します。

調整画面

お好みにあわせ調整をしてください。
調整した内容は”メモリー”として保存され、音声モードで選択をすることができます。

◆ 残響効果

ステレオの音声の効果を「強」「弱」「オフ」に調整できます。

設定メニュー

設定メニューではお知らせ、機能設定、初期設定を行ないます。

◆ お知らせ

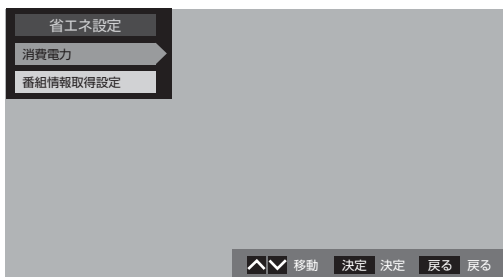
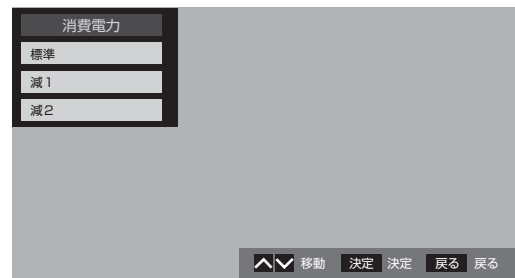
お知らせを選択します。

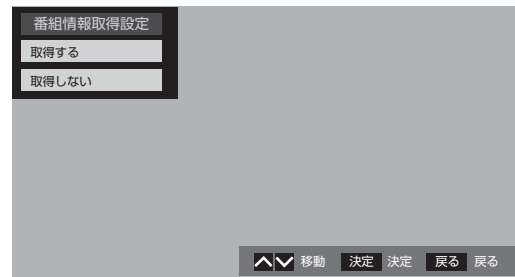
- **放送局からのお知らせ**
  放送局からのお知らせが一覧表示されます。タイトルを選択し、(決定)で内容を確認できます。
- **本機に関するお知らせ**
  本機に関するお知らせが一覧表示されます。タイトルを選択し、(決定)で内容を確認できます。

機能設定メニュー

◆ 機能設定

機能設定では省エネ設定、OSD の透明度、ソフトウエアのダウンロードの設定を行ないます。

省エネ設定では消費電力、番組情報取得の設定を行ないます。

◆ 消費電力設定

バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。

◆ 番組情報取得設定

電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得するかしないかを選択します。

- **ＯＳＤ透明度**
  メニュー画面の背景色の濃さを調整します。設定値が低いほど薄く、設定値が高いほど濃くなります。

◆ ソフトウエアのダウンロード

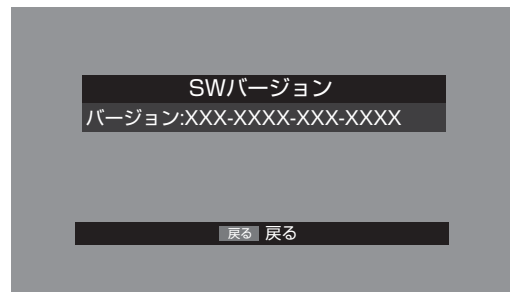
本機のソフトウェアを自動的にダウンロードして更新するか設定します。

「する」に設定しておくと、新しいソフトウエアが配信された際、自動的にダウンロードと更新が行われます。「しない」に設定している場合は、「お知らせ（メール）」の「本機に関するお知らせ」に、ソフトウエア配信の日時を知らせるメールが届きます。配信日時までに「する」に設定してください。

ご注意

- 主電源が OFF になっていると、ソフトウエアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようご注意ください。
- アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウエアのダウンロードは行えません。NHK のアンテナレベルが 50 以上になるよう、アンテナを調整してください。

◆ ソフトウェアバージョン

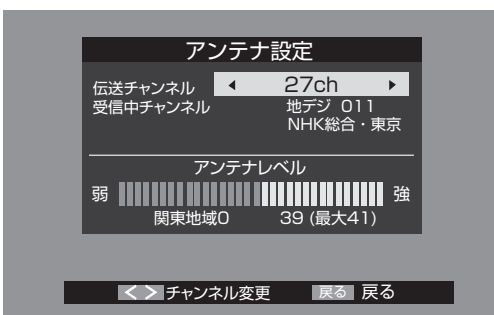
現在のソフトウエアのバージョンを表示します。

初期設定メニュー

初期設定メニューに表示される項目は、地上アナログ、地上デジタル、PC 入力など、選択している入力モードによって異なります。
入力モードを選んでから (メニュー) を押してメニューを表示し、▲▼で「初期設定」を選択してください。

◆ はじめての設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「はじめての設定」を行ってください。操作手順は 16 ページを参照してください。

◆ アンテナ設定

◀ ▶で受信チャンネルを選ぶと、チャンネルごとのアンテナレベルを確認できます。

◆ 設定の初期化

すべての項目を初期化し、お買い上げになった時に戻します。

◆ チャンネル設定

- **地上デジタル自動設定**

  引越しした場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。お住まいの地域を選択後、状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

  「初期スキャン」を選ぶと現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。購入後初めて設定する場合、違う地域に引っ越した場合は、こちらを選びます。

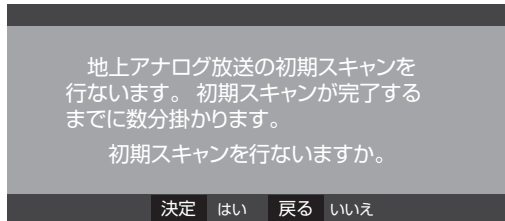
  「再スキャン」を選ぶと、現在設定されているチャンネルのみスキャンし、設定します。同じ地域に引っ越した場合、アンテナ等の機器を交換した場合は、こちらを選びます。

- **地上デジタル手動設定**

  リモコンの数字キーに、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

▲▼で変更したい数字キーに割り当てられた放送局を選んで (決定) を押してから更新を押して確定してください。

初期設定メニュー

- **地上アナログ自動設定**

地上アナログ放送のチャンネル設定をやり直します。

- **地上アナログ手動設定**

「スキップ」を「●」にすると、チャンネル上下ボタンで選局するときに放送のないチャンネル（空きチャンネル）をスキップするように設定できます。

- **地上デジタル字幕設定**

お好みに合わせて字幕を表示したり、消したりします。（地上デジタル放送の場合のみ切換できます。）

「表示する」「表示しない」が設定できます。

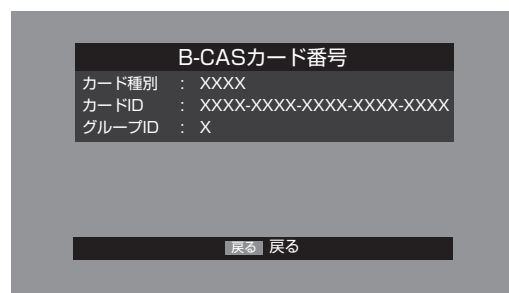
- **地上アナログ音多設定**

複数の音声がある場合に、音声を切り換えます。受信している放送によって音声表示は異なります。音声多重放送を受信しているときは、次のように音声が切換わります。

「主音声」→「副音声」→「主・副音声」

◆ B-CAS カード番号表示

本機にセットされている B-CAS カードの番号を表示します。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
DVDの操作
その他

タイマー機能メニュー

スリープタイマーを設定しておくと、設定した時間が経つと自動的に本機の電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

「タイマー機能」から「切」「あと 30 分」「あと 60 分」「あと 90 分」「あと 120 分」を選択します。
表示が消えるとスリープタイマーが設定され、設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。
タイマーを設定した後で、メニュー を押して「タイマー機能」を選択すると、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

PC 設定メニュー

入力モードが「PC 入力」の場合は、「映像設定」メニューからPCの画質を調整できます。(30ページ参照)

◆ 画面位置調整

PC のオート、周波数、位相、上下画面位置、左右画面位置、初期の設定に戻すを調整できます。

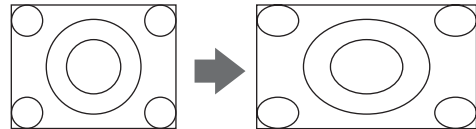
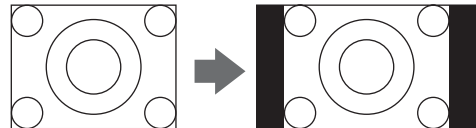
- **オート**
  最適な表示になるよう、自動的に設定を調整します。
- **周波数**
  PC のモードでは、画面のパラメータを調整する。
- **位相**
  PC のモードでは、画面のパラメータを調整する。
- **上下画面位置**
  表示を垂直方向に移動します。
- **左右画面位置**
  表示を水平方向に移動します。
- **初期設定に戻す**
  画面の設定を初期状態（工場出荷時）に戻します。

◆ 画面サイズを変える

［画面サイズ］を押すたびに、PC → 4：3 の順番で切り換わります。

PC

4：3 の映像をワイド画面いっぱいに拡大して表示します。（映像が横伸びします）

4：3

4：3 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。（画面の左右に黒い帯が表示されます）

お知らせ

本機はすべての PC には対応しておりません。
PC の取扱説明書をご確認ください。

ディスク(DVD ビデオ・音楽 CD)を再生する

ディスクについて

本機では、DVD ビデオ（NTSC 方式、リージョンコード 2）と音楽 CD の再生ができます。

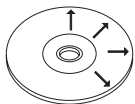
お知らせ

DVD-R ／ DVD-RW について

- ビデオフォーマット形式で記録されたディスクは再生できますが、録画に使用したレコーダーやディスクの種類・傷・汚れなどの条件によって再生できない場合があります。

◆ ディスクの取り扱いについて

ディスクを取り扱うときは、記録面やレーベル面には触れないように、ディスクの外周部と内側の穴に指を入れてはさむように持ってください。

ディスクにほこりやゴミが付着したり汚れたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向かって軽く拭いてください。

◆ ディスクに関する注意事項

- ディスクに傷や汚れ、ほこり、指紋などが付いていると、再生できない場合があります。
- ハート型や多角形など、特殊な形状のディスクは入れないでください。故障の原因になります。
- ファイナライズ処理がされていない DVD-R ／ RW は挿入しないでください。（DVD ディスクの取り出しに時間がかかることがあります）
- ローディング中には「ディスク取り出し」操作をしないでください。故障の原因となります。
- シールが貼り付けられたディスクを使用しないでください。故障の原因となります。DVD-R ／ RW や CD-R ／ RW などは特にご注意ください。
- コピーガード付き CD（CCCD など）の再生について
  CD の標準規格に準拠しないコピーガード付き CD（CCCD など）について、当社としては再生の保障は致しかねます。CD を再生する際には、CD のロゴマークの有無など、CD の標準規格に準拠しているかどうかをご確認ください。CD の標準規格に準拠しない特殊なディスクの再生に支障がある場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

◆ DVD のリージョンコードについて

DVD は、販売される国によって、リージョンコードと呼ばれる地域番号が定められています。本機で再生できる DVD のリージョンコードは「2」です。

リージョンコードは、DVD ディスクのパッケージやラベル面に、次のようなマークで印刷されています。

リージョンコードのマーク

◆ DVD のタイトルとチャプターについて

DVD ビデオは、タイトルとチャプターから構成されます。例えば、映画の本編のほかに特典映像などがある場合、これらの本編や特典映像がタイトルで、さらに各タイトルがチャプターに分けられます。各タイトルとチャプターには、タイトル番号、チャプター番号が付けられています。（ディスクによっては番号が付いていない場合もあります。）

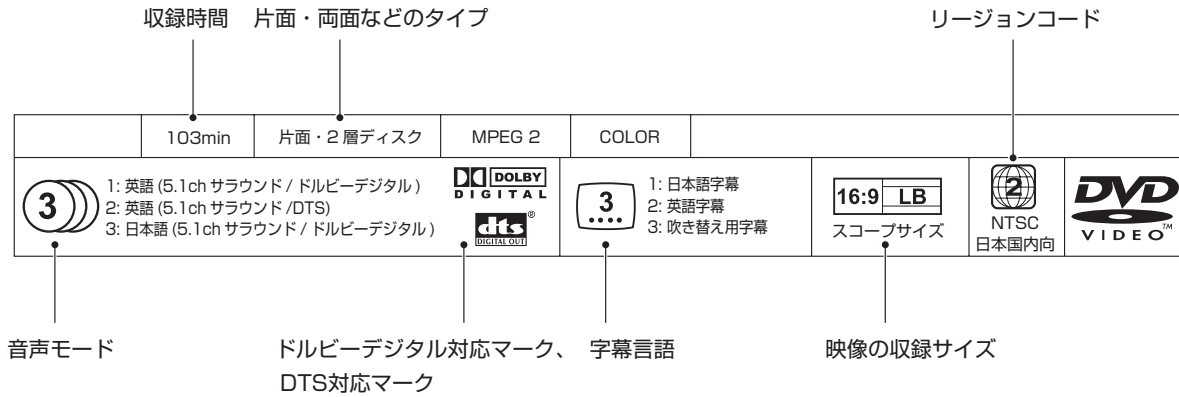
一方、CD の場合は、それぞれの曲をトラック（TRACK）と呼びます。

DVD ビデオのタイトル番号、チャプター番号や CD のトラックはリモコンの数字ボタンや▲▼◀ ▶ボタンで選択してください。

ディスク（DVD ビデオ・音楽 CD）を再生する

◆ DVD のケース記載情報について

DVD のケース（ジャケット）には、次のような情報が記載されています。DVD の記録方式、サウンドフォーマットや各種の機能などをご確認ください。

記載例

ディスク（DVD ビデオ・音楽 CD）を再生する

ディスクを再生する（基本操作）

DVD ビデオ、音楽 CD を再生します。

1 DVD を押して、DVD 入力モードにする

入力切換 を押して入力を切り換えることもできます。入力切換 を押すたびに、DVD 入力 → HDMI → PC 入力 → 地上デジタル → 地上アナログ→ ビデオ 1 → ビデオ 2 → D 端子入力の順に切り換わります。

ご注意

- 本機にディスクを挿入するときは、必ず入力を DVD に切り替えてください。他の入力モードになっていると、ディスクを挿入できません。入力が DVD 以外の状態で、ディスクを無理に挿入すると、故障の原因となります。

2 DVDまたはCDのラベル面(印刷されている面)を後ろにして、本体右側面のディスク挿入口にディスクを挿入する

ディスクを途中まで挿入するとディスクが自動で引き込まれます。無理に押し込むと、故障の原因となりますのでご注意ください。

お知らせ

- 再生中に一時停止ボタン ▶II を押すと、一時停止の状態となります。ディスク取り出しボタンを押してディスクが途中まで出てきた状態で、再度ディスクを挿入したいときは、いったんディスクを引き抜いてから挿入してください。一時停止した位置から再生が始まります。

お知らせ

- ディスクを入れると自動的に再生が始まります。再生が始まらないときは、再生ボタン ▶II を押してください。
- DVD のディスクメニューが表示されたときは、カーソルボタンで、メニューから項目を選択して 決定 または再生ボタン ▶II を押してください。

3 再生を一時停止するときは、一時停止ボタン ▶II を押す

再生ボタンを押すと、一時停止した位置から再生が始まります。

4 再生を停止するときは、停止ボタン ■ を押す

お知らせ

- 再生中に一時停止ボタン ▶II を押すと、現在の再生位置を記憶して一時停止します。次に再生ボタン ▶II を押すと続きから再生します。停止ボタン ■ を一回押すと現在の再生位置を記憶して一時停止します。次に再生ボタン ▶II を押すと続きから再生します。停止ボタン ■ を二回押すと再生を終了してディスクの最初に戻ります。次に再生ボタン ▶II を押すとディスクの最初から再生します。
- DVD の再生中に 入力切換 を押して他の入力に切り換えたときは、自動的に再生が停止します。

5 再生が終わったら、取り出しボタンを押してディスクを取り出す

ディスクを破損させない為にもディスクが途中まで出てきたら、横に引き抜いてください。

ディスク（DVD ビデオ・音楽 CD）を再生する

再生を一時停止する

1 **再生中に、一時停止ボタン ▶II を押す**
再生が一時停止します。
一時停止中は、「一時停止 II」が表示されます。

2 **再生を再開するときは、再生ボタン ▶II を押す**
と再生が再開します

頭出しをする（前スキップ／次スキップ）

1 **再生中に、前スキップボタン I◀◀ 、または次スキップボタン ▶▶I を押す**
- 前スキップボタン I◀◀ を押すと、前のチャプター／トラックが再生されます。
- 次スキップボタン ▶▶I を押すと、次のチャプター／トラックが再生されます。

チャプター／トラックを数字ボタンで選ぶ

1 **再生したいチャプター／トラック番号の数字ボタンを押す**
指定したチャプター／トラックが再生されます。

お知らせ

1 桁の番号（「3」など）を指定するときは：
- 数字ボタンの「3」を 1 回押します。

2 桁の番号（「10」「12」など）を指定するときは：
- 「10」の場合は、数字ボタンの「10」を 1 回押します。
- 「12」の場合は、数字ボタンの「1」を 1 回、「2」を 1 回押します。

早戻し／早送りをする

早戻し／早送りで再生しながら見たい場面を探したり、曲を早戻し／早送りで再生できます。

1 **再生中に、早戻しボタン ◀◀、または早送りボタン ▶▶を押す**
2 倍の速度で早戻し、または早送り再生します。

2 **続けて早戻しボタン ◀◀、または早送りボタン ▶▶を押して、希望の速度を選ぶ**
押すたびに、2 倍速 → 4 倍速 → 8 倍速 → 20 倍速 → ノーマルの順に切り替わります。

3 **通常の再生に戻るときは、再生ボタン ▶II を押す**

お知らせ

早戻し／早送り中は、音声が出ません。

DVD の操作中に禁止マークが表示されたら

操作中に禁止マーク が表示されることがあります。これらのマークが表示された場合は、その操作ができないことを表しています。

ディスク（DVD ビデオ・音楽 CD）を再生する

DVD のメニューについて

DVD では、再生時にディスクのトップメニューが表示されることがあります。トップメニューでは、タイトルを選択したり、字幕言語や音声言語を選択できます。トップメニューは、再生中に呼び出すこともできます。

お知らせ

- DVD ／メニューの表示内容は、ディスクによって異なります。
- DVD ／メニューが記録されていないときは、表示されません。

◆ DVD のメニューを表示する

1 **ディスクが挿入されている状態で、DVD ／メニューボタンを押す。**

ディスクメニューが表示されます。

◆ DVD のメニューから項目を選ぶ

1 **カーソルボタン ◀ ▲ ▶ ▼ でメニュー項目を選択して、決定ボタン (決定)（または再生ボタン ▶II）を押す。**

DVD の字幕言語を選ぶ

複数の字幕言語が記録されている DVD では、字幕の言語を選択できます。

1 **DVD 再生中に (字幕) を押して目的の字幕言語を選ぶ。**

(字幕) を押すたびに、字幕言語が切り替わります。

お知らせ

- 字幕の言語の種類や言語数はディスクによって異なります。
- 「字幕オフ」を選択すると、字幕は表示されません。
- DVD によっては、DVD ／メニューでのみ字幕の選択が可能な場合があります。

DVD の音声言語（音声出力）を選ぶ

複数の音声言語が記録されている DVD では、音声言語（音声出力）を選択できます。

1 **DVD 再生中に (音声切換) を押して目的の音声言語（音声出力）を選ぶ。**

(音声切換) を押すたびに、音声言語が切り替わります。

お知らせ

- 音声の言語･モードの種類や数はディスクによって異なります。
- DVD によっては、DVD ／メニューでのみ音声の選択が可能な場合があります。

リピート再生（繰り返し再生）をする

選択したチャプター／タイトル／トラック、またはディスク全体を繰り返し再生します。
リピートボタン を押すたびに、リピート範囲が次のように切り替わります。

DVD
チャプター → タイトル → リピートオール →
オフ（通常再生）
CD
リピート [1]（1 トラックをリピート）→
リピートオール →オフ（通常再生）

1 リピートボタン を押して、再生したいリピート範囲を選ぶ

リピートボタン を押すたびに、繰り返す範囲が切り替わります。

お知らせ

- リピートボタン を押して「リピートオフ」（通常再生）を選択すると、リピート再生がキャンセルされて通常の再生に戻ります。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下記のとおりです。（まだ放送を開始していない放送局もあります）
引越しや新しく放送局が開局されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、地上デジタルモードで機器設定メニューを表示し､「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。

都道府県	チャンネルポジション	放送局
北海道（帯広）	3	NHK総合·帯広
	2	NHK教育·帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道（釧路）	3	NHK総合·釧路
	2	NHK教育·釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道（北見）	3	NHK総合·北見
	2	NHK教育·北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道（旭川）	3	NHK総合·旭川
	2	NHK教育·旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道（札幌）	3	NHK総合·札幌
	2	NHK教育·札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道（函館）	3	NHK総合·函館
	2	NHK教育·函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道（室蘭）	3	NHK総合·室蘭
	2	NHK教育·室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合·青森
	2	NHK教育·青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合·盛岡
	2	NHK教育·盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
宮城	3	NHK総合·仙台
	2	NHK教育·仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合·秋田
	2	NHK教育·秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合·山形
	2	NHK教育·山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合·福島
	2	NHK教育·福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合·水戸
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

都道府県	チャンネルポジション	放送局
千葉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
東京	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合·新潟
	2	NHK教育·新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
富山	3	NHK総合·富山
	2	NHK教育·富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
石川	1	NHK総合·金沢
	2	NHK教育·金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合·福井
	2	NHK教育·福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
山梨	1	NHK総合·甲府
	2	NHK教育·甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合·長野
	2	NHK教育·長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

地域別チャンネル表

都道府県	チャンネルポジション	放送局
静岡	1	NHK総合·静岡
	2	NHK教育·静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
岐阜	3	NHK総合·岐阜
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
愛知	3	NHK総合·名古屋
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合·津
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合·大津
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	BBCびわ湖放送
京都	1	NHK総合·京都
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	KBS京都
大阪	1	NHK総合·大阪
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	7	テレビ大阪
兵庫	1	NHK総合·神戸
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合·奈良
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	9	奈良テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合·和歌山
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	テレビ和歌山
鳥取	3	NHK総合·鳥取
	2	NHK教育·鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
島根	3	NHK総合·松江
	2	NHK教育·松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
岡山	1	NHK総合·岡山
	2	NHK教育·岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KBS瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合·広島
	2	NHK教育·広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合·山口
	2	NHK教育·山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
徳島	3	NHK総合·徳島
	2	NHK教育·徳島
	1	四国放送
香川	1	NHK総合·高松
	2	NHK教育·高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合·松山
	2	NHK教育·松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合·高知
	2	NHK教育·高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合·福岡
	3	NHK総合·北九州
	2	NHK教育·福岡
	2	NHK教育·北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

都道府県	チャンネルポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合·佐賀
	2	NHK教育·佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合·長崎
	2	NHK教育·長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
熊本	1	NHK総合·熊本
	2	NHK教育·熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
大分	1	NHK総合·大分
	2	NHK教育·大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合·宮崎
	2	NHK教育·宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
鹿児島	3	NHK総合·鹿児島
	2	NHK教育·鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
沖縄	1	NHK総合·那覇
	2	NHK教育·那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音がする
  部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
  本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？ • お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。 • 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してみてください。 • 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	• スリープタイマーを設定していませんか？ →スリープタイマーの設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない AV 映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？ →アンテナの接続を確認してください。 • 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。 • 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 • 電源スイッチは入っていますか？ →電源スイッチを入れてください。 • テレビモード以外の入力モードになっていませんか？ →テレビモードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナが壊れたり、アンテナ線が切断されたりしていませんか？ →アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
映像が二重､三重になる（ゴースト）	• 山やビルなどからの反射電波が考えられます。 →アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • アンテナの方向がズレていませんか？
色じま模様が出る	• 近くのテレビからの妨害電波を受けている可能性があります。 →アンテナの向きや高さを変えてみてください。 • 他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？ また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 →妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。
画像にはん点が出る	• 自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていることがあります。 →アンテナをなるべく道路、線路、ネオンなどから離すようにしてみてください。
映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる 映像が静止したり、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整してください。 • アンテナ線の劣化が考えられます。 • 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。

故障かな？と思ったら

症状	原因や対処のしかた
色合いが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。
映像が不鮮明 映像がゆれる	• テレビの電波が弱い場合が考えられます。 • 電波状態が悪い場合も考えられます。 • アンテナの方向がズレていませんか？ • 屋外アンテナのアンテナ線が外れていませんか？
接続した機器の映像がでない	• 外部機器は正しくつながっていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。 • 入力切換は合っていますか？ →リモコンまたは本体の入力切換ボタンで、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？ •「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？ • お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか？ →地上デジタル放送が行われているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	•「設定」の「地上デジタル自動設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

エラーメッセージ一覧

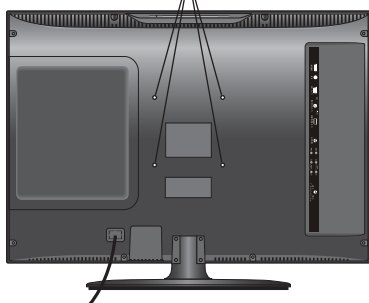
代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

デジタル放送

メッセージ	対処のしかた
このチャンネルはご覧になれません	• 放送されていないチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
信号が受信できません	• 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われているかも確認してください。
現在放送されていません	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
チャンネルが設定されていません	• 存在しないチャンネル番号を入力したときに表示されます。正しい 3 桁番号を入力してください。
この B-CAS カードは使用できません	• B-CAS カードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属の B-CAS カードを正しく入れてください。
B-CAS カードが正しく挿入されていません	• B-CAS カードを入れる向きが間違っています。正しい向きで挿入してください。
この B-CAS カードは交換が必要です。 B-CAS カードが故障しています。	• B-CAS カードが故障しています。
この IC カードはご使用になれません。	• 無効な IC カードが挿入されています。B-CAS カードを挿入してください。
放送チャンネルではないためご覧になれません	• 放送チャンネルを選択しなおしてください。
未読メールがあります	• ソフトウェアのアップデートなどの情報メールが到着しています。メールを確認してください。
ソフトウェアのダウンロード中です。	• ソフトウェアをダウンロードしています。そのままお待ちください。

壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

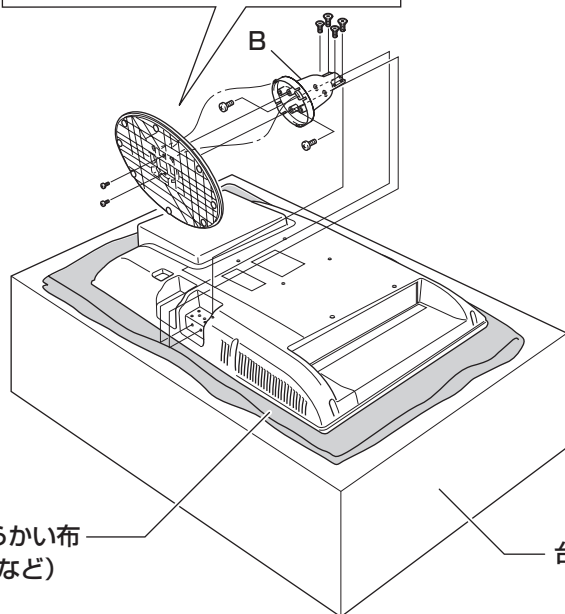
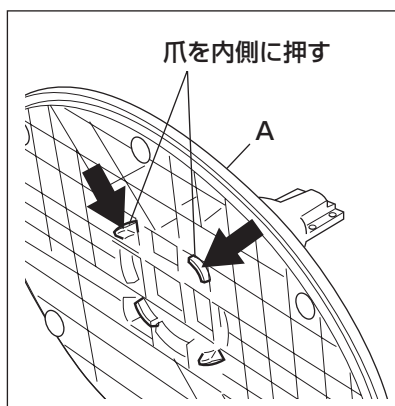
- **テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。**
- **専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。**

お知らせ

ネジ穴寸法は 100mm × 100mm です。
VESA 規格に準じた金具をご購入ください。

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドをはずしてください。

1 **テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く**

2
- **スタンド（A）部分のネジ（2 箇所）を取りはずし、爪２箇所を内側に押してスタンド(A)をはずす**
- **スタンド（B）部分のネジ（6 箇所）を取りはずし、スタンド（B）をはずす**

ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

主な仕様

◆ テレビ

型名		LCU2162X (B)/(W)
種類		地上デジタルハイビジョン液晶テレビ
液晶パネル	画面サイズ	横 477.5mm × 縦 268.5mm
	アスペクト比	16:9
	画素数	1366（水平）× 768（垂直）
	輝度	350cd / ㎡（標準値）
	視野角	上下 160°／左右 170°
	コントラスト比	800:1（標準値）
	応答速度	5ms
電源		AC100V (50/60Hz)
消費電力		48W
待機時消費電力		0.6W
年間消費電力量		50 KWh ／年
スピーカー		ボトムスピーカー　2 個
音声出力		総合 6W (3W + 3W)
受信チャンネル		地上アナログ :VHF(1 ～ 12ch)・(UHF13 ～ 62ch)・(CATV C13 ～ C63ch) 地上デジタル :UHF(13 ～ 62ch)・CATV パススルー (VHF,UHF) 対応
入力・出力端子	アンテナ入力	地上デジタル・地上アナログ
	ビデオ入力	映像 :RCA ピンジャック
	ビデオ入力（S）	映像 :Y / C ピンジャック
	D4 端子入力	14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ 対応入力解像度 :480i/p,720p,1080i
	HDMI 入力	HDMI Ver.1.2 標準規格 対応入力解像度 :480i / p, 720p, 1080i, 1080p
	PC 入力	D-sub15 ピン、RGB 信号、音声 :3.5mm ステレオミニジャック 対応入力解像度： 800 × 600@60Hz, 1024 × 768@60Hz, 1280 × 768@60Hz, 1280 × 1024@60Hz, 1366 × 768@60Hz
	ヘッドホン端子出力	ヘッドホン端子 3.5mm ステレオミニジャック
DVD	再生可能ディスク	DVD + R / − R, DVD + RW / − RW, CD, CD-R / W　CPRM 対応
使用条件		周辺温度 :0℃～ 35℃、周辺湿度 :20% ～ 80%(結露のないこと)
外形寸法		幅 535mm × 高さ 411mm × 奥行き 89mm（スタンド含む 200mm）
スタンド角度調整範囲		上約 8°／下約 8°
質量 (スタンドを含む)		5.8Kg
付属品		リモコン 1 個、単 4 形乾電池 2 個、B-CAS カード 1 枚、取扱説明書 1 部、 簡単接続ガイド 1 部、保証書 1 部

お知らせ

- 本機はデータ放送に対応しておりません。

主な仕様

◆ リモコン（RC-002）

電源	DC 3V（単 4 形乾電池× 2）
質量	92.5 g（乾電池を含まない）
リモコン操作距離	約 7 m（ただし直進）

＊ 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型再サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

[保証期間中の場合]

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。ユニテクサービスセンターにご連絡ください。

[保証期間を過ぎている場合]

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはユニテクサービスセンターまでお願いいたします。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です。）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

◆ 個人情報の取扱いについて

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス　www.toshiba.co.jp/regza/LZ1/eula

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　原文(英文)

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel	Exhibit A
DirectFB	Exhibit B

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

**GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS
AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.
   For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED

BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License,
version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defi ned independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..
   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defi ned by law.
   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
   Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.
    If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.
    For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
    If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
    It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
    This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

株式会社 ユニテク

サービスセンター

電　話　(03) 5387-1342
営業時間　9:00 ～ 12:00
　　　　　13:00 ～ 17:00
土日、祝日および年末年始は、お休みとなります